国土交通省

NEWS　RELEASE

国土交通省 近畿運輸局

問い合わせ先
（所属）　海事振興部船員労政課
（担当）　田中、須谷
（電話）　06-6949-6435

令和８年１１月９日

内航船員の人材確保対策

大阪市立三先小学校にて出前講座を実施しました！

内航海運は、日本経済を支える重要な産業ですが、船員の確保・育成が喫緊の課題となっています。そこで、近畿運輸局と各海運組合事務局およびその傘下会員事業者を構成員とする近畿内航船員対策協議会では、若年船員の確保に向けて各種の事業を実施しています。

今般、大阪市立三先小学校において出前講座を実施しましたので、お知らせいたします。

実 施 日：　令和 8 年 10 月 27 日(火)
対 象 者：　大阪市立三先小学校　4 年生 55 名
講　　師：　株式会社 辰巳商会　上田　雄士　氏
講義内容：　海運の重要性と船員の仕事について

「Ｃto Sea プロジェクト」
海と船がもっと楽しく身近になる情報発信中！！
海と船のポータルサイト「海ココ」開設　→

配布先：海運関係業界プレス

大阪市立三先小学校の４年生に出前講座を実施しました！

近畿運輸局及び近畿内航船員対策協議会（会長：林　一男　田渕海運(株)　取締役）では、内航の若年船員不足に対する施策の一つとして、海運の重要性や船員の仕事についてＰＲし、海の仕事や船に対する子どもたちの興味や関心を高め、船員の仕事を将来の職業の選択肢として捉えてもらうことなどを目的に「出前講座」を実施しています。

今般、令和８年10月27日（火）、大阪市立三先小学校において、「海運の重要性と船員の仕事について」をテーマとした出前講座を実施し、４年生55名が参加しました。



当日は、近畿内航船員対策協議会の構成員である（株）辰巳商会の上田氏が講師として、日頃、船員に接する機会の少ない生徒に、「海運」がなぜ重要か、「船員」はどのような仕事をしているかなどについて、パワーポイントや動画を用いて、わかりやすく説明を行いました。

講座は、船には漁船、貨物船やフェリー等の種類があり、船員の仕事には、船を操船する「甲板部」と、船のエンジンを動かす「機関部」に分かれることを伝え、日本は島国で資源のほとんどを海外からの輸入に頼っており、船がなくなると日本はどういう状況になるのか、船がどのような仕事をしているのかを、動画「内航タンカーの仕事2025」（全国内航タンカー海運組合）の視聴も交えながら行いましたので、生徒たちも理解を深めていました。



また、船員の仕事は、３ヶ月乗船・１ヶ月休暇するサイクルがメインであることを紹介し、上田氏はその１ヶ月の長期休暇中に趣味の海外旅行でたくさんの国を訪れたことを写真を用いて紹介しました。

さらに、日本の自給率にも触れ、普段食べているパンの材料である小麦のほとんどが船で運ばれてきていることや、電気を使用することができるのも原材料を船で運んでいることを伝え、生徒たちは熱心に上田氏の話に耳を傾けていました。

今回の講座は、生徒に対して質問クイズを投げかけていく形式で実施され、生徒たちは隣の友達と相談して手を挙げたり、口々に答えていましたが、自分達が想像しているよりも船の重要性を学ぶことができて、終始、楽しい雰囲気のなか進んでいきました。

講座の最後には生徒からたくさんの質問が投げかけられましたが、講師から時間の許す限り丁寧に回答されました。

近畿運輸局及び近畿内航船員対策協議会では、出前講座が生徒の職業観の形成につながることを期待するとともに、将来の職業選択にあたり「船員」の仕事が選択肢の一つとなるよう、「海運の重要性」や「船員の仕事」についてのＰＲ活動を引き続き積極的に行いたいと考えています。

（近畿運輸局　海事振興部　船員労政課）